

東日本大震災支援活動 「子供達に笑顔を！」プロジェクト

【活動期間】2011/6～2017/2



唐桑小学校 (2012/10)



活動概要

実施日	小学校名	児童数 (人)	ボランティア 参加人数(人)	
			全体	うち東急 グループ
第1回	2011/6/6 宮城県気仙沼市立階上(はしかみ)小学校	241	49	23
第2回	2011/10/31 宮城県女川市立女川第一・第二・第四小学校	423	62	26
第3回	2012/3/5 福島県いわき市立磐崎(いわさき)小学校	125	79	29
第4回	2012/10/22 宮城県気仙沼市立唐桑(からくわ)小学校	125	83	39
第5回	2013/3/4 宮城県仙台市立荒浜小学校・東宮城野小学校	252	115	62
第6回	2013/10/28 岩手県陸前高田市立小友小学校・米咲小学校	133	88	44
第7回	2014/3/10 宮城県仙台市立中野小学校・中野栄小学校	142	99	50
第8回	2015/2/9 福島県南相馬市立高平小学校	114	97	50
第9回	2015/10/5 宮城県南三陸町立伊里前小学校	192	97	64
第10回	2016/3/14 宮城県亘理郡山元町立坂元小学校	136	99	38
第11回	2017/2/20 宮城県気仙沼市立階上小学校	204	121	58
計	16校(延べ)	2,087	989	483

989人のボランティアが延べ16校を訪問し、2,087名の児童に対し
バレーボール教室を実施するとともにハンバーグカレーを提供

宮城県
岩手県
福島県
各小学校
(延べ16校)
の児童に対し
『バレーボール教室』
『食育授業・給食』
を実施



協働ボランティア

東急グループ

東急電鉄

- 営業推進事業部 (事務局)
企画調整・ボランティアスタッフ参加
食器等費用負担
- 総務部
バス・食材費用負担

東急バス

バス運行および費用負担

東急エージェンシー

食材提供 (費用負担)

東急ストア

食材提供 (費用負担)

東急ホテルズ

ホテルでの事前調理 (厨房提供)
ボランティアシェフ・スタッフ参加

東北東急会

ボランティアスタッフ参加

日本フランス料理技術組合 (三國シェフほか各シェフ)

ボランティアシェフ・スタッフ参加

(公財) 日本バレーボール協会

バレーボール教室の開催
(指導員参加)
大山加奈さん・未希さん

大正クエスト

ゼビオスポーツ

コカ・コーラ・ストジャパン
長谷川町子美術館 など
資材・飲料・プレゼント提供 等

■ 3月11日（金） 仕込み ザ・キャピトルホテル東急 厨房（サラダ以外）

■ 3月13日（日） 仕込み ザ・キャピトルホテル東急 厨房（サラダ）

■ 3月14日（月） 22:30 赤坂エクセルホテル東急 東急バス到着

ボランティアスタッフ集合・機材搬入



23:00 赤坂エクセルホテル東急発

6:00 山元町立坂元小学校到着 現地ご挨拶・準備開始

9:25 体育の授業（大山加奈氏、大山未希氏）（1年生～3年生）63名

10:30 体育の授業（大山加奈氏、大山未希氏）（4年生～6年生）73名

11:50 関係者紹介挨拶及び食育の授業（三國シェフ）（体育館）

12:05 昼食（体育館）

13:15 坂元小学校児童よりお礼の会（体育館）

13:35 撤収作業 ～ 『やまもと語りべの会』による被災地視察

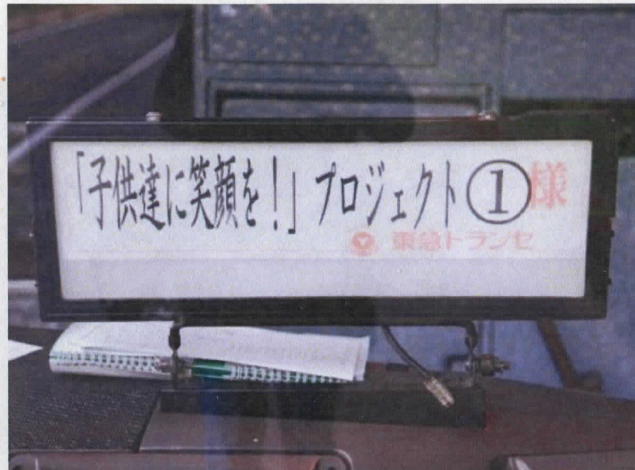
14:30 現地発

22:30 赤坂エクセルホテル東急着搬出、解散





▲日曜深夜に赤坂エッセル
ホテル東急前から出発



▲バスのプレート



▲朝6時ごろ到着



▲スタッフによるトレー消毒



▲シェフのミーティング



▲東急ホテルで事前調理
したハンバーグの湯煎

活動状況②



▲バレーボール教室

(左：2012/10小友小

中：2015/10伊里前小

右：2016/3坂元小)



▲食育授業 (三國シェフ)



▲配膳風景

(加藤総料理長)



▲ハンバーグカレー



▲児童全員で給食



▲大山さんを囲んで



▲子供たちと話す
三國シェフ



▲児童によるお礼の会



▲児童によるお礼の会



▲プレゼントした
バレーボール

表彰状

ブランド賞

東京急行電鉄株式会社
営業推進事業部 殿

貴事業部は東北地方の小学生を対象とした「子供達に笑顔を」プロジェクトに東北東急会をはじめとする東急グループ各社等とともに取り組んでこられました。憧れのスポーツ選手が直接指導するバレーボール教室、フレンチシェフによる食育授業とランチを提供し各社は企画運営から食材提供や調理ならびにバス運行等で活動を支え二〇一一年に入学した小学生が卒業するまでの六年間十二回にわたり継続実施してこられました。こうした東急グループならではの活動を通して子供達に笑顔を与え東北地方の活性化に貢献するとともに東急ブランドの価値向上に寄与しましたのでここに金一封を贈呈し表彰いたします。

平成二十九年七月十八日

東京急行電鉄株式会社



取締役社長 野本弘文